

このように
生きてみよう...

「イエス様、
あなたのために！」

ジュリアーナ・イスラエル

アラブとイスラエルを隔てるために建てられた壁の近くに住んでいます。部屋の窓からは毎日その壁が見えます。

道ぞいには、兵隊がいて、通行人に、身分証明書を見せるように立ち止まらせます。学校に行く時も、親戚の所に行く時も、また友達と会うときもいつも大変です。

兵隊が私たちを立ち止まらせるとき、いつも不安な気持ちになります。そのとき思い出して、この恐れをイエス様に捧げようとしています。そしてこの兵士も私と同じ人間だから、愛さなくてはいけないと思います。

そうしていると、イエス様は私にとって全てになり、毎日やり直す力をくださいます。そして、難しいことも、耐えていけるように感じられます。



努力すること:
イエス様だったら
どうするかを考えて
行動する

いのちの言葉 | 12

主の道をととのえ、その道すじをまっすぐにせよ。(マルコ 1.3)

この言葉は、預言者イザヤの言葉から取られ、洗礼者ヨハネのことを思い浮かべて話しました。

教会では、クリスマスを前にして、**喜びの時へと私たちを導きます**。罪が許され、救いを与えてくださる王が来られることを洗礼者ヨハネは告げます。

この喜びのメッセージを受けとめるためには、私たちの心の姿勢を根本的に変えていく必要があります。

今月のみ言葉は、曲がりくねる歩行不可能な「道」を例にあげています。それは、私たちの日々の生活の中に**「神をお迎えする」のをはばむ障害物**があることを意味しているでしょう。

かたよった見方、意志の弱さなどの障害物をひとつひとつ取り除きながら、神様の来られるのを準備します。

自分が望んでいる道ではなく、神様が望む道を選ぶ勇気、自分の計画ではなく、神様の計画にそって行く勇気をもつことが必要です。

このように決心したら、自分の意志を神様の望みへと根本的に変えるようにしていきます。

それはどのようにというなら、「今、今すぐに」するようにと教えてくれます。

今のこの時に、私たちのうちに、私たちの意志ではなく、神様の意志が生きているようにするために、ひとつひとつ障害を取り除いていきます。

{ 今、もしイエス様だったら
どのように行動するか
考えてみます。 }

{ 何かをする前にイエス様に
「これは、あなたのためで
す。」と言ってしまいます。 }